

今のまま残したい、続けたい

○地域での繋がり・助け合う

- ・ご近所同士での助け合い
 - ・ご近所のつながり
 - ・誰もが知り合い
 - ・住民同士のコミュニケーション
 - ・あたたかい人情
 - ・顔が見える関係性、助け合える
 - ・人とのつながり
 - ・いつでも誰とでもあいさつ
 - ・助け合い隊活動の継続
 - ・助け合い
 - ・自治会活動
- 町民が意見交換できる、繋がっていくために
- ・佐用町に住み続ける
 - ・自治会内ボランティア精神あふれる方々
 - ・充て職→いろいろな人にあえる、話を聞けるから

○行事

- ・まつり
- ・みん活を続けること
- ・昔からの行事 やる意味が変わっても
- ・村のまつり→コロナの少し前から若い人が入ってきてくれるようになった、世代を越えてみんなまでできること

○佐用の空気感や考え

- ・ゆったりした時間の流れ
- ・今の佐用町を残したい
- ・農業を活かした暮らし
- ・安心感 ・防災意識
- ・年取ってくると佐用の良さに気づいた。趣味も変わる。

○自然や町並み

- ・佐用町という町
- ・豊かな自然 ・豊かな自然
- ・自然豊かなまち
- ・自然の中であそび
- ・自然 ・自然
- ・自然との関わり
- ・自然と遊ぶことができる！
- ・ヒマワリ・花しょうぶ
- ・田園風景
- ・たんぼや畑のある風景
- ・たんぼ ・棚田 ・水田
- ・佐用川 ・山城
- ・山岳古道120選の釜坂峠
- ・個人事業お店
- ・平福の町並み
- ・昭和の建物

○社会インフラ

- ・医療機関
- ・姫新線、智頭線
- ・行政サービス
- ・今の道路

○食

- ・食文化
- ・美味しいホルモン焼きうどん
- ・食

特に大切・よく出た話

- ・つながる ・女性が活躍しやすい佐用町 ・若者を活躍しやすいまちに、つながる ・ジェンダーギャップ変えたい！
 - ・女性がいきいき生きられる ・自分らしく生きる・寛容さ、ポジティブなコミュニケーション
 - ・心のハードルを下げる（気軽にチャレンジできる）⇒失敗を許せる・期待感大切
 - ・子どもがチャレンジできる←大人が応援！！→大人も成長できる
 - ・すぐに変えられそうなこともなかなか難しい（あて職、自治会長の人気など、やりたい人が立候補して取り組める環境づくり）
- ＝抜本的に考え直さなくてはならない
- ・人口が減っても便利、豊かな生活を目指したい（小さなことの積み重ねで構わない）
 - ・ポジティブな考え方で話す→それをみた子ども若者もポジティブに
 - ・変えた方がいいこと…エネルギーがすごくいる、けど大事 ・今の佐用町は素晴らしい！！
 - ・若者の件を地域も行政も認められる ・ひまわり畑、何かみんなで盛り上げたい！・おいしい・たのしい ・楽しみ方伝わる
- ・つながり①年代ごと②年代を越えて・「やるもんだ」ではなく、やる理由をきちんと共有してやる。

変わった方がよい

○佐用町での生活・多様なライフスタイル

- ・車が無くても暮らしやすいまち
- ・町外からでも関われるライフスタイルの構築
- ・住民が中心となる企画を！！
- ・あて職 ・○○地域へのこだわり
- ・できなくなったことも協力してできる関係

○「話し合い」が出来る環境へ

- ・やめる、続けるをきちんと話し合える（世代を越えて）
- ・話し合いの場 ・会議を話し合いに
- ・儀礼的な開会あいさつの廃止 ・若者の話を聞く場
- ・「若い人は…」とすぐに言うこと
- ・「最近の若いもんは」というきめつけ→自分が40代の時の助けてもらってた経験を忘れて、60代になって「若いもんはと」批判する
- ・ポジティブな考え方で話す事が大事なのかな
- ・年配者による支配(組織的に)
- ・つながりの為には、地域協中心にみん活に参加する人達をもっともっと作る

○行事の見直し等

- ・新しい企画よりもとあるものを見直す ・充て職 →前例踏襲になりがち、限られた人の意見
- ・ひまわり畑をもっと盛り上げる ・集落内出事 →やらされ感強い、若い人いやがってる
- ・活動における固定観念→しなければいけないと前例踏襲、その年代のやりたいことしたらよい

○考え方

- ・女性がもっと生き生きと
- ・人口増の考え方 ・人口減によるマイナス感
- ・お金がないとはじまらないという考え方
- ・姫新線を存続するという考え方
- ・「何も無い」と言ってしまう習慣
- ・行政批判体質 ・佐用町に関心を
- ・新しいことが受け入れられない・目立たないことが大事

○場所や機会

- ・町外の人との交流 ・学ぶ機会がない・少ない
- ・ポジティブなコミュニケーションがあふれたまちへ
- ・気軽にボール遊びが出来る場所
- ・佐用町好きの佐用町民を増やす
- ・みん活フォーラムのような集まり地域ごとに
- ・比較しない、されない 寛容なまちへ

○その他

- ・人がいなくなった民家の活用 グラミンカetc.
- ・無駄な予算は使わない！！ ・集落行事なくさない
- ・チラシ等で住民にアピールを！！（行政からの広報）
- ・社会教育のあり方 ・まだまだ残る旧町
- ・エネルギーいるなあ… ・楽しい農業できたら…
- ・集落の合併 ・地産地消

新しく作りたい

○こんなまち、地域

- ・みんなの対話でつくるまち
 - ・愛着が持てるまち ・帰ってきたいと思えるまち
 - ・自分らしい生き方を大切にできるまち
 - ・比較しない、されないまち
 - ・子どもを中心に据えた地域づくり ・町内DXの充実
 - ・人口が減っても安心して暮らす
 - ・引きこもりがちな高齢者対策・ボランティアができる雰囲気をつくっていききたい
- 社協に関して広げていきたい→今、業者任せになっている 若いうちからボランティア 60代働いている

○施設や場所・人

- ・気軽に集まれる施設 ・人と人をつなぐ人
- ・高校生サークル→新・青年団 ・つながりの作り方
- ・都市住民との交流 ・農地管理と営農
- ・大人の「充」若者に見せるあそび場 ・学びの場
- ・各年代の交流活動→子供減る、親も減る、役員負担増、行事減る、やらない
- ・趣味を共有できる場所 ・気軽に集まれる施設 ・まじわる場
- ・起業する人募集・もっと山遊び、川遊びできる場
- ・学びたい人が学べる場 ・通いの場 ・気楽に集まれる場
- ・大人も子どもも遊べる場・集える場 ・仲間と出会える、見つかる
- ・いっしょに考えてくれる場
- ・（自由に）新たなコミュニティが出来る

○あり方や方向性の検討

- ・話し合いを重ねること
- ・村の役員のあり方
- ・これからの教育 ・これからの医療
- ・自治会内小部落→役員やる人が特定される 「枠」の見直しをしないと助け合い難しい
- ・田舎で便利な生活 ・人事異動（ストラテジー）
- ・CS 社会教育委員 社会教育士
- ・日本語学校の学生交えたイベント
- ・こういう話し合いに学生も来てほしい！

○多様な関係性

- ・ジェンダーギャップ対策
- ・少ない意見が大事にされる
- ・個人が前が出る（ひとりひとりの意見大事）
- ・若い人たちをいかに出てくれるようにするか

○考え

- ・昔ながらの考えをやめる ・やってみよう！を応援する
- ・やってみようが応援される、できる
- ・新しい価値感の受け入れ
- ・（都会のような）新しいものはいらぬ
- ・お金では買えない価値の見える化
- ・できること、小さな規模で暮らしを豊かに
- ・楽しみ方を考える、伝える→ポジティブに考える
- ・やらない選択も大事にされる ・佐用で暮らすということへの認識
- ・新しいことが受け入れられる



第3回縮充のまちづくり検討委員会ワークショップ ～未来の佐用町での充実した生活に向けて～